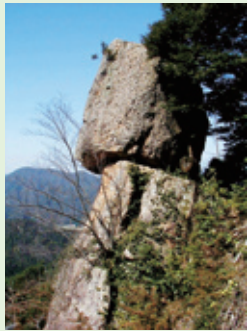


豊岡、風景のものがたり 4【最終回】

平成23年10月23日に行った「とよおか景観フォーラム2011」において、景観計画検討委員会により応募総数220作品の中から選定され、表彰した「豊岡、風景のものがたり」を、4回に分けて掲載しています。今回は、第4回目の「豊岡、風景のものがたり」です。《問合せ》都市整備課 ☎23-1712

「豊岡、風景のものがたり賞」

《一般の部》



漁村の風景・いもじもとし 鑄物師戻峠の大岩からの展望
あけべなおみ 明部直身さん

【風景の説明】

以前は但馬海岸有料道路で観光バスや自家用車が行き交ったが、無料道路となり、また城崎との鑄物師戻峠の県道が整備され、交通量が急激に減り、この道路沿いにある由久日とともに、平家落人部落の昔の姿でひっそりと佇んでいる。

旧湯島海道鑄物師戻峠の頂上付近にある大岩です。湯島(城崎温泉)に遊んだ昔の文人墨客が竹野浜に遊ぶ際にこの大岩を眺め驚いたことでしょう。鑄物師がこの峠を通った時、今にも落ちてきそうな大岩を見て驚き、戻ったのでこの名前がついた。との伝承があります。「雨月物語」の作者上田秋成の書いた恋物語が残っていると、竹野の「古文書に親しむ会」の橋井氏が記されています。この写真の撮影場所には茨が生茂っていて、早春の雪解時でないと到達は非常に困難です。竹野町須谷の福祉センターから望遠鏡等で見るができます。

【講評】 厳しい自然の中で、長年にわたり暮らしてきた人々の英知が感じられ、歴史と地形が織り成す「海の道」と「陸の道」は、人々の生きざまを感じます。



一日が終わり、家族がほっと一息ついている幸宮垣陽一郎さん

【風景の説明】

雪の夕暮れはことのほか絵心をかきたてる。この家は、今夜の御馳走がなんだろう、あの家は寒かったから鍋料理かな。ついそんな思いにかられる。雪の降る凜とした寒さと静けさの中に灯の明かりを描くことにより家庭の家族が寄りそって生活しているぬくもりが伝わってくれば幸甚です。

【講評】 但馬の冬の情景で、降り積もる雪の中でも人々の幸せを感じさせてくれるような、いつまでも残したい里の暮らしの風景です。



城崎温泉の秋祭り 山本綾乃さん

【風景の説明】

温泉の繁栄と五穀豊穡、町内安全を祈願する200年以上前から続く格式高き城崎温泉秋祭り。幼き頃より景色と音を脳裏に、年功序列の厳しい階級を自らの力で歩む。城崎にとって秋祭りは1年の始まり。

【講評】 豊岡市に数多くある祭りは、誰もが残していきたいと願うものです。そんな祭りの勢いがよく伝わってきます。



三方ウォッチングマップ 吉田順一さん

【風景の説明】

三方の地区で地域をウォッチングしようと平成元年から形を少しずつ変えて(毎年事業として)行われていました。その中でマップを作ろうと4～5人でグループを作り区内を分散して調べてきたことを各グループで発表、それをまとめたものです。当時は助成金をいただいて作成しました。(三方地区全戸に配布しました)

【講評】 谷や集落などの地形が非常によく表現されており、里の風景が伝わってきます。未来に残したい日高三方地区のマップです。

※【風景の説明】は原文を使用しています。

●発行／豊岡市
☎0796612311
●編集／政策調整部秘書広報課
FAX231124

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
・竹野 ☎4711111
・出石 ☎5231111
・但東 ☎54423211001
・城崎 ☎10001